



# かめだ図書館だより

新潟市立亀田図書館（江南区文化会館内）第26号 令和元年9月発行



亀田図書館キャラクター  
ウメちゃん

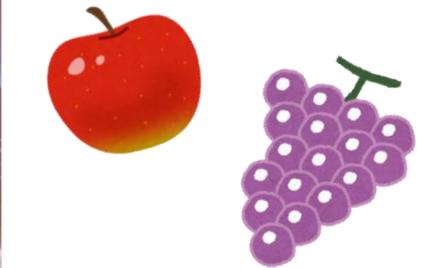
## いろいろな秋は

読書の秋だけじゃないよ！

## 図書館にお任せ！



大人向けの展示コーナーでは、「五穀豊穡」と題して、豊かな実りに関する農業や料理、祭りの本などを展示しています。



子ども向けの展示コーナーでは、ハロウィーンなどのイベントに関連した絵本や、秋のたべものに関する本を紹介しています。



秋といえば、何を連想しますか？食欲の秋、スポーツの秋、読書の秋…。  
いろいろな秋に関する本は図書館にお任せ！

たとえば、「食欲の秋」なら料理や秋の恵みに関する本、「スポーツの秋」なら各種スポーツに関する本、読書の秋にふさわしい各種読み物など…。

図書館入ってすぐ脇にある展示コーナーでは、秋に関する大人向け・子ども向けの本を展示しています。

様々なイベントが多いこの機会に、ぜひご来館ください。

★秋の読書週間にあわせて関連イベントも行います！

詳しくは次ページをご覧ください→→→→→



10/26～12/3 まで

# 秋の読書週間関連イベント



## 雑誌リサイクルフェア

保存年限の切れた雑誌や、寄贈していただいた図書のうち、図書館で受入れしなかったものを差し上げます。

**日時：10月13日（日）午前10時30分から11時30分**

**場所：江南区文化会館 多目的ルーム**

※当日8時30分より入場整理券をお渡しします。  
亀田図書館が入っている江南区文化会館に入館できるのも8時30分からです。

※おひとり様10冊までとなります。事前予約はできませんので、あらかじめご了承ください。



## 江南区中学生俳句作品展

昔から俳句が盛んだ江南区の特徴を生かし、区内の中学生による俳句作品展を行います。中学生ならではのみずみずしい感性が感じられる俳句をご覧ください。

**日時：11月7日（木）から11月25日（月）**

**場所：江南区郷土資料館（亀田図書館向かい）**

亀田図書館では、俳句関係の資料の収集に力を入れており、2階に「特別コレクション」として関係資料を展示しています。作品展に合わせ、館内でも俳句に関する展示を行います！



## 亀田図書館講演会

## 防ごう特殊詐欺！守ろう財産！

弁護士をお迎えし、特殊詐欺などについての講演会を行います。

**日時：11月30日（土）午後2時から3時30分（予定）**

**場所：江南区文化会館 多目的ルーム**

※詳細が決まり次第、区だより、チラシ等でご案内します。



# おはなしのじかん

赤ちゃんや幼児を対象に、絵本の読み聞かせや手遊び等を行います。  
秋の読書週間にあわせて、スペシャルなおはなしのじかんもあります。

日時：定例会 ● 毎月第1・第3土曜日 午前10時30分から11時  
● 毎月第4日曜日 午前10時30分から11時  
● 毎月第2・第4水曜日 午前10時30分から11時（赤ちゃん向け）  
その他の日程については下表をご覧ください。

日時	時間
11月16日（土）	午前10時30分から11時15分
11月27日（水）	午前10時30分から11時15分
11月30日（土）	午後1時30分から2時

※11月16日と11月27日は定例のおはなしのじかんを延長して開催します。

会場：亀田図書館 子ども図書室 おはなしのへや

10月26日から大人向け・子ども向け読書ノートを配布します！  
読んだ本の数だけ色を塗ったり、本の感想を書くなど、読書の記録にご利用ください。



## 江南区の地区図書室をご紹介します②

江南区には亀田図書館の他、4つの図書室があります。  
各図書室について4回に分けてご紹介します。

### ◆大江山地区図書室◆

昭和56年7月に大江山農村環境改善センター内に設置されました。  
小さいながらもものどかな雰囲気地域の方に利用されています。

所在地 江南区細山401  
閲覧席 6席  
駐車場 30台（共用）  
開室日及び開室時間  
月～日曜日 9:00～22:00  
休室日 毎月第3木曜日、  
11/2～3（文化祭）  
年末年始、蔵書点検日



### 【アクセス】



### ◆地区図書室を利用するには？？

- ・地区図書室では、各図書室ごとに利用者登録が必要です。
- ・お一人につき5冊まで、2週間借りられます（予約できるのは5冊までです）
- ・地区図書室で借りた本は借りた地区図書室にご返却ください。 ※詳しくは亀田図書館まで！

# 俳句の窓

江南区は昔から俳句が盛んな土地柄です。

地域の俳人・小嶋紅円さんから、江南区にゆかりのある俳人の句を紹介していただきます。

## 裏庭の柿がおやつの幼き日

田中範子

江南区割野に在住、若い頃から俳句に親しむ。亀田第一病院俳句会幹事。古希近くになり、生まれ育った村の実家は、柿のなる頃農作業が忙しく、おやつといえば、裏庭に色付く甘柿だったと、幼少の時を思い出している懐旧の一句。



## 焼きいもの半分づつの立ち話

星千鶴子

東区中野山に在住。亀田第一病院に勤められ、病院俳句会幹事。おいしいホクホクの焼き芋を、食べながら立ち話をしている様子を俳句にした。2人で話しているが、焼き芋もちょうど真中から分けたと言い切っているところが俳味。

小嶋紅円さん\*本名小嶋健一(元教員)。亀田下早通出身。田村山火・紅子夫妻に俳句を教わる。俳誌「雪」「鷗」に投句。著書：『世継楯』(俳句・俳文集)

# おすすめの本

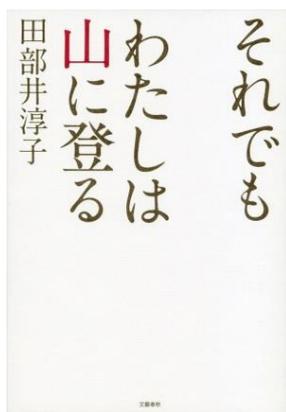
## 『それでもわたしは山に登る』

田部井 淳子/著 文藝春秋 2013年

8000メートル級の山々へのアタック・雪崩との遭遇、更に登山隊を率いる苦勞、そして乳がんの発症。様々な困難に直面した時に経験豊富な登山家はどのように考えたのか。自身による決断と行動の記録です。

印象に残るのは、「山で学んだことは日常にも活かせる」という言葉です。厳しい状況にあっても、自分で下した判断を信じてぶれずに進むという姿勢が大切だと、我々に語りかけてくれます。

病を得てからも登りつづけた“山”への思いが強く伝わる1冊です。



図書館職員 大野

## 『おかあさん ありがとう』

みやにし たつや/作・絵 金の星社 2019年

おかあさん、ぼくね、言いたいことがあるんだ。

遠足、お遊戯会、かぜで熱を出したとき、大きなたんこぶを作ったとき、絵を描いたとき、運動会でびりになったとき、おねしょしたとき、寝る前のよみきかせ、誕生日。

いつもぼくをほめてなくさめて、失敗も許してくれて欲しいものを買ってくれた。そして、痛くて苦しいのにがんばってぼくを産んでくれた。

普段、心の中で思っけていても口に出さない「ありがとう」。読んでいくうちにこの言葉を言いたくなる絵本です。

あなたも、今日はお母さん・お父さんに「ありがとう」を言ってみませんか。



図書館職員 石田

「かめだ図書館だより」第26号・令和元年9月発行(年4回発行)

編集・発行 新潟市立亀田図書館(新潟市江南区文化会館内)

新潟市江南区茅野山3-1-14

電話: 025 (382) 4696 FAX: 025 (381) 8003

ホームページ: <https://www.niigatacitylib.jp>

メールアドレス: [kameda.cl@city.niigata.lg.jp](mailto:kameda.cl@city.niigata.lg.jp)